

令和七年度  
入学者選抜学力試験 国語（前期／経済）

解答例

一

問一 ア 契機 イ 遮 ウ 迅速 エ 発効 オ 妥当

問二 化石燃料の消費が大気中に含まれる二酸化炭素の量を増加させ、太陽から届いたエネルギーが宇宙空間に放出されるのを妨げることで、エネルギーの収支バランスが崩れ、地球にとどまるエネルギー量が過多になった結果、地球環境が大きく変化してしまう。（116字）

問三 海水の酸性化が進み、プランクトンやサンゴなどの海洋生物がその影響を受けるといった、不可逆的な変化を地球環境にもたらす可能性をはらんでいること。（71字）

問四 議論の中心が主要な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量削減であり、化石燃料の使用を規制することによる経済活動への影響について懸念を抱く国も多いから。（74字）

問五 大気中の二酸化炭素の増加は、絶滅種の急増や人工肥料の使用などと同様に、人間が地球環境に与えてきた影響であり、地層に含まれる化石や化学物質の変化として科学的に読み取れる可能性があるから。（92字）

問六 化石燃料の使用を減らし排出する温室効果ガスの量を削減すること （30字）

二

- 問一 これまでの日本社会で通用してきたライフコース標準が崩壊し、将来展望を持てる青年層と将来展望を持てない青年層との分岐が進行する事態のこと。(68字)
- 問二 だれもが物質的生産力に支えられ、勤勉に学び働くことで「豊かさ」の実現という夢に到達できると感じさせる言説である。その夢の核心部にある所有への期待・願望は、大衆が所有主体として「自立」することを想定している。(104字)
- 問三 希望の意志的断念という若者に広く浸透したエートス自体が、旧来の希望言説の特権的所有者にたいする屈従の拒否を意味するから。(60文字)
- 問四 旧来の希望言説に頼らず、希望を意識的に断念する若者たちに、それでもなお可能な「幸福の余地」を配分し、現実的な生の貧しさをバーチャルではあるが実質的生の心理的満足によって補完・補償することで、体制的秩序内に若者を効率的に回収する統合回路。(118字)。